

「杉並にあった映画館」開催中！

現在、杉並区立郷土博物館 分館（天沼 3-23-1 天沼弁天池公園内）にて、「杉並にあった映画館」という展示会が開かれています。映画のポスターやプログラムを通して、映画が最盛期を迎えていた昭和 30 年代にあった映画館を紹介しています。

この展示会は、5月10日（日曜日）まで開かれています。

かつて杉並区には、20 館以上もの映画館がありました。ときは昭和 30 年代、映画全盛期といわれた時代です。しかし、テレビの普及や娯楽の多様化により、区内での映画館は姿を消していき、平成 5（1993）年、唯一残った荻窪スター座もついに閉館となりました。今回の展示では、かつて上映された映画のポスターやプログラムなどから、区内にあった映画館を紹介しています。



展示されている映画のポスターの多くは、区内在住のある蒐集家の方からお借りしたものです。（蒐集のきっかけなど興味深いエピソードは、ぜひ展示会で！）当時、利用者が多かった銭湯内などに貼られ、上映が終わるたびに捨てられていたポスター。手描きのものや、今にも役者たちがポスターからあふれ出てきそうなデザインのポスターが 30 点ほど展示されています。

さらに、「プログラム」と呼ばれる、当時の映画館がそれぞれ独自に編集していた映画宣伝用小冊子も 25 点ほど展示されています。この小冊子は、次回公開予定の映画の紹介を中心に、映画館近辺の商店の広告欄がみられるのが特徴です。今では当たり前の「冷暖房完備」や「総天然色」がセールスポイントになっているほか、のちに映画の商売敵となるテレビの広告や「振興商店街」（現在のタウンセブン）の広告、近所のレコード屋「新星堂」の提供を受けて休憩中にレコードの音楽を流していたことなど、じっくり見ることで、当時の世相や、近隣の商店の情報まで知る手掛かりとなります。

映画資料を通じて、昭和 30 年代の杉並の映画館を紹介する展示会、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

杉並にあった映画館

場 所：杉並区立郷土博物館分館 西棟 2 階展示室
東京都杉並区天沼 3-23-1（天沼弁天池公園内）

会 期：平成 27 年 5 月 10 日（日）まで

開館時間：9：00～17：00

休 館 日：毎週月曜日・毎月第 3 木曜日（祝日、休日の場合は翌日が休館）

【問合せ先】

杉並区立郷土博物館 分館 電話 5347-9801